

【2015年7月23日】

コモンズサポーターの成長を願う・・・

みなさん、こんにちは。

コモンズセンターがオープンして、3か月が経ちました。

この間、大きなトラブル等もなく、これまで中部大学に無かった新しい学びの場が浸透している感じがしています。



1階アクティブホールにて



2階スチューデント・コモンズにて



3階ラーニング・コモンズにて

さて、本メッセージも3回目。今回はコモンズを支えるサポーター（学生）の様子を紹介したいと思います。

本メッセージ5月号に書きましたが、コモンズセンターの運営を学生が担う、『コモンズサポーター』制度をつくりました。現在、23名の学生がコモンズサポーターとして研修を重ね、運営しています。日常業務はほとんど学生のみで運営しており、サポーターの意識の高さと力量に感心しています。今年1月、集った23人は多様な学部学科や学年で、ただの集合体でした。しかし、研修から半年、コモンズがオープンして3か月が経過し、組織的な目的を持ったチームへと変化している事を感じています。



この変化と重なるものがあります。私事で恐縮ですが、紹介します。我が家では過去に何年もカブトムシを羽化させています。この書き方では私が自ら世話をしている様に感じる方も居られると思いますが、実は妻が羽化させています。妻曰く、全ての幼虫が何もせずにきちんと羽化できるとは限らないとの事です。それを促すのは、実に面倒な世話が必要なのだそうです。ほんの一部ですが、聞いた話によると、乾燥防止を万全にし、1~2か月に1回、土(マット)を交換、補充するのだそうです。蛹は最もデリケートな時期なので、取り扱いには十分注意が必要だとのこと。特に蛹化直前~直後の時期はショックによって蛹化不全を起こし死亡してしまう恐れがあるため、あまり振動を与えないようにするのだそうです。この面倒な部分を怠ると、きちんと羽化しない。しかし、妻は(息子の手前もあるのか)面倒を面倒と思わず、世話をし、自分自身の達成感もあり、楽しいと言っています。この話を聞き、コモンズサポーターの成長と重なる部分がありました。

たとえば悪いかも知れませんが、サポーターをカブトムシと考えてみましょう。

現在23人のコモンズサポーターを羽化へと導く取組みの1つとして、『コモンズ・アカデミア』を5月より定期的に開催しています。

コモンズ・アカデミアの目的は、まず「人はいかに生きるべきかを考えること」や「人と人が様々な活動をお互いに行う上で、前提にすべき共通の物の考え方」を養うことです。これまでに4回開催しました。各回の様子は参加したサポーターがレポートしていますのでHPをご覧ください。



これまでの『コモンズ・アカデミア』では、私からトピックスを伝え、議論をしています。参加したサポーターは自身が感じることを話し、その内容を基に意見交換をしています。開始直後は私からのトピックスに難しい顔をしている参加者も居ますが、仲間で議論を進めると、明らかにすっきりした顔をして、とても楽しそうに議論する姿が毎回展開されています。仲間同士での議論の重要性は言うまでもありません。時に対立が生じることもあります。若いエネルギーがぶつかり合う訳ですから、厄介な爆弾を抱えていると表現する事もできます。し

かし、わがコモンズサポーターのチーム力はこの対立を中和する力を育み始めています。この力こそ、人間力であると実感し、さらに人間力を大きく育むポテンシャルをこのチームに感じています。人間力とは、(定義に議論の余地がありますが)自ら考え生きる力だと思います。個個人が人間力を高める事で、個人の弱みを中和し、さらに独自の強みへと変えて行きます。この強みをメンバーでさらに成長させる事ができれば、かなり強靱なチームとなると感じます。

『コモンズ・アカデミア』のトピックスを設定・準備することは容易な事ではありません。むしろプレッシャーです。しかし、カブトムシの羽化と重ねますが、面倒(プレッシャー)を面倒(プレッシャー)と思わずサポートすることで、自分自身も新たな発見があり、羽化(成長)しているのだと考えれば、楽しみでもあります。我が家のカブトムシの羽化は妻一人に任せていますが、コモンズサポーターの羽化は山田公夫館長をはじめ、コモンズセンターに関するスタッフが丸となり、担当しています。

今後、コモンズサポーターはますますバージョンアップしていくと思います。人間に力をつけた社会からあてにされる“人財”を排出したいと考えています。

既に7月も中旬となりました。更新が遅くなって申し訳ありません。本日の最高気温は34度。梅雨明け前にしては青い空に白い雲です。台風の影響と思われるが、一見真夏を感じました。これからますます暑くなります。熱中症には十分気をつけてください。

コモンズセンター長 伊藤 守弘(7月15日)